

Contents

- 02 虹のメッセージ
- 02-05 新春対談
京都精華大学学長 ウスビ・サコさん ×
京都生協理事長 畑 忠男
- 06-07 商品ものがたり  ユニセフ共同開発 手揚げ風油あげ
- 08-09 知ってる？ 食の安全・安心
カビは食べても大丈夫？
- 10-11 information /
ユニセフお年玉募金へのご協力をお願い
- 12 第21回 商品大交流会のお知らせ
- 13 子育てぺちゃくちゃん
- 14-15 読者投稿コーナー ほっとTIME
- 16 四季彩ごはん 油あげの焼きロール寿司



新春対談

京都精華大学学長
ウスビ・サコさん

京都生協理事長
畑 忠男

違いを認めあい、
尊重しあえる
世の中を目指して



日本で唯一、マンガ学部を設置する大学として知られる京都精華大学。2018年春、アフリカ系として日本の大学初の学長となった、マリ共和国出身のウスビ・サコさんの名は、一躍世界にとどろきました。空間人類学を通じて様々な国を見てきたサコさんに、多様性の尊重やSDGs17の目標への姿勢など、京都精華大学と京都生協が国際社会の一員として目指す姿について、お話を伺いました。



新年に寄せて

理事長 畑 忠男



新年明けましておめでとうございます。日ごろより、京都生協のご利用や活動へのご参加、ありがとうございます。また、京都生協の事業や活動へのご理解とご協力をいただいております全ての関係者の皆さまに感謝を申し上げます。

2019年、京都生協は創立55周年を迎えます。創立以来、助け合いの組織として、誰もが笑顔で安心して暮らすことができる地域社会、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいりました。2015年の国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」は、2030年までに持続可能な世界・社会を実現するために確認されたもので、協同組合の役割発揮が期待されています。世界では紛争や飢餓・貧困、気候変動による災害などが、また日本でも平和の問題、食糧資源確保や食品ロスの問題、貧困問題、農水畜産業の担い手の高齢化などの深刻な問題が山積しています。

一人ひとりの暮らしをより良くしていくと同時に、私たちの暮らしと関係する地域社会の課題についても学び、そして協同の力で取り組んでまいりたいと考えています。また、誰もがより利用しやすい宅配事業や店舗事業を展開することで、組合員の皆さまの食を中心とした暮らしを総合的に支えていく決意です。本年もよろしくお願いいたします。



▲広々とした京都精華大学構内。休み時間にはあちこちが学生たちのコミュニケーションの場となります



▲学長室はサコさんの生まれ故郷、マリを連想させる民芸品がたくさん。故郷を大切に想う気持ちが溢れています

世界の中の日本、その文化と精神

畑 京都精華大学は日本初のマンガ学部の設立や、京都市との京都国際マンガミュージアムの共同運営など、ユニークなとりくみをされている印象です。今や芸術、文化の域にまで高められたマンガを含む日本の新しい文化を育んでいくなかで、大学ではどのようなことを大事にされていますか。

サコ 京都精華大学が大事にしていることは3つあります。1つは「人間尊重」です。学生・教職員の人格を同じ人間として守り、多様性を尊重し合うことが重要です。違いを認め合って、それぞれ求めるものが違っていても、同じ構成員として大学を作っていくことを大切にしています。2つ目は「自由自治」です。自由そのものが尊重されると同時に、個人が自立していろいろなことに参画する能力を持つことが重要です。3つ目は「表現」です。表現はその人や物事に対して自分の姿勢を示すための手段で、アイデンティティを構成

する要素です。

畑 サコさんはお生まれはマリで、中国留学の後、日本に来られて27年になるそうですね。いろいろな国での生活経験を経て、日本や京都をどのように見ておられますか。

サコ 京都は「ヒューマンスケールな街」というイメージです。把握しやすく心地いい。京都人はすぐに通じ合える特別なものを持っている気がします。また、京都をととても大事にし、誇りを強く持っています。自分たちを誇れるのは、尊敬できることです。

畑 ありがとうございます。SNSやインターネットの普及により世界の距離が近くなってきていること、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催など、日本はますますグローバル化を意識する状況にあると考えています。

サコ 日本に来る外国人は、日本人の姿勢、思想やかつての文化、歴史に興味があったり、尊重している人も多いのではないのでしょうか。そんな外国人が日本で過ごしやすいようにきめ細やかな配慮がされているのは、日本独特のやり方のように思います。